

開講科目名 Course	租税法研究演習 1 年（村上先生） / Seminar on Tax Law
時間割コード Course Code	18020
開講所属 Course Offered by	法学研究科修士課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2021年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	土 / Sat 2
開講区分 semester offered	通年 / .
単位数 Credits	4.0
学年 Year	1
主担当教員 Main Instructor	村上 正城
科目区分 Course Group	研究演習科目
教室 Classroom	3 1 講義室
講義形式 Lecture Style	演習科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	村上 正城（法学研究科修士課程）
授業の目標	
授業の概要	<p>修士論文作成に必要な租税法の基本的な知識及び考え方を身につけるとともに、学術論文の技法や研究の進め方について習得することを目的とする。</p> <p>授業では、毎回、教員が提示または各自が選択した研究テーマについて報告者を決定し、報告者が自身で作成したレジュメに基づいて報告を行った上で、ゼミ生全員による意見交換・討議を行う。ゼミ生は、授業での報告の機会などを活用し、修士論文のテーマ選定や関係資料の収集、文献・判例の読みこみなど、論文執筆へ向けて早めの着手に努められたい。</p> <p>なお、授業での報告に先立ち、所定の期日までに報告資料を本ゼミ掲示板にアップし、ゼミ生による自主ゼミの実施を必須とする。</p> <p>2. 評価方法 出席及び授業への参加姿勢、レポート、貢献度等を総合的に勘案して評価する。</p>
評価方法	
教員の指導に従わない以外の事由 による失格基準	
授業計画	
テキスト	水野忠恒他「ジュリスト別冊 租税判例百選〔第6版〕」有斐閣（2016年） 木山泰嗣『税務判例が読めるようになる』大蔵財務協会(2015年) その他必要に応じて指示する
参考書	必要に応じて指示する
アクティブラーニング、ディスカ ッション、実習等	
アクティブラーニング、ディスカ ッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授 業	
担当教員の実務経験を活かした授 業の内容	
質問への対応方法	
フィードバックの方法	

予習・復習等、準備学習の内容及び時間	
使用言語	
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	